

LPガス
人と地球にスマイルを

ちば炎の仲間

発行

一般社団法人千葉県LPガス協会広報委員会
〒260-0024 千葉市中央区中央港1-13-1
TEL 043-246-1725
FAX 043-243-6781
E-mail: chibalpg@chibalpg.or.jp
http://www.chibalpg@chibalpg.or.jp

毎月10日は保安の日

平成25年度 定例理事会を開催

【横山一洋会長あいさつ要旨】

本日は、皆様方には、お忙しい中、また、猛暑にもかかわらず、ご出席いただき、誠に有難うございます。

理事の皆様方には、日頃から当協会の運営、各種事業の推進や、5月の社員総会、6月の県指定保安講習会、7月、8月の保険の契約更改などなど、多大なる御支援、御協力を頂いている所であり、この場を借りて心からお礼申し上げます。

私も、5月の総会で会長職を拝命してから、まだ2ヶ月経っていませんが、中央の総会やら各種委員会、また、先生方の後援会など、色々と飛び回っております。

こんなに会長職が大変なものとは思っていませんでしたが、一生懸命、頑張りますので、今後とも、御支援、御協力の程、よろしくお願い申し上げます。

また、防災基金を活用したLPガス発電機の寄贈の件ですが、伊藤県議の御計らいにより、県への寄贈式を8月下旬に行います。各市町村への寄贈の際、避難所等へのLPガス供給設備の設置を、更に働きかけて下さい。

【県あいさつ要旨】

今年の県指定保安講習会ですが、各支部の皆様方のご協力をいただきまして無事終了いたしました。

また、保安機関の認定更新申請件数が今年の後半は多くなりますので、ご協力をいただきたいと思います。

今年6月までに発生した消費者事故は1件であり、下期についてはできれば無事故でいていただきたいと思います。

【議事内容】

議題1 非常用発電機の寄贈について (報告・依頼事項)

千葉県の防災計画で備蓄品としてLPガスが昨年新たに加わり、各支部にて避難所の普段からのLPガス供給の働き掛けとLPガス自動車の公用車の導入を千葉県と各市町村長に要望しております。

この導入を進めていただくために1,100万円を予算化し、県及び県内54市町村にLPガス発電機を1台ずつ寄贈します。

これを契機とし、LPガス供給設備を避難所等に設置してもらうよう更に県及び各市町村に働きかけます。

LPガス発電機を寄贈するに際して、下記の手順にて行うこととする。

- ① 千葉県知事への寄贈式を一般紙に公表する。
- ② 上記公表後、各支部より各市町村へ寄贈する。

議題2 情報収集訓練と市町村別の消費者戸数調査について (審議事項)

- ① 情報収集訓練について
 - ② 市町村別消費者戸数調査について
- 災害の際には、県並びに全L協に報告義務があり、震度6弱以上の場合には、必ず、震度5強以下でも被害があれば報告義務があります。
- 本年度当協会として実施する情報収集訓練の方法と日程及び市町村別の消費者戸数調査を行うことについては、継続審議することとなった。

議題3 需要開発推進運動について (報告事項)

池田需要開発委員長より各推進事項(テーマ)のスローガンと方針について報告があった。(2面掲載)

また7月11日に開催された需要開発委員会報告を行った。

議題4 退任役員の慰労会の開催について (報告事項)

資料に基づき本日理事会終了後、退任役員感謝状並びに慰労金を贈呈することを報告した。

議題5 平成25年度千葉県高圧ガス火災類保安大会について (依頼事項)

本年度は、10月23日(水)に「三井ガーデンホテル千葉」で開催することについて報告し、優良事業所、優良従業員の推薦について、まだ未提出の支部については早急に対応いただくことを依頼した。

【退任役員名簿一覧表】

氏名	所属支部	在任期間
山川 宏	柏	H3～理事H5～(常任理事) H15～(副会長)H23～(会長)
風見 敏雄	野田	H19～(常任理事)
宮澤 芳雄	海匝	H23～(常任理事)
塩澤 秀一	松戸	H11～(理事)
鈴木 正満	船橋	H23～(理事)
海宝 文博	香取	H23～(理事)
深澤 弘行	長夷	H21～(理事)
大塚 雅昭	自動車	H21～(理事)

議題6 「安全機器普及状況等及び1販売店1基1台運動並びに需要開発推進運動等」 (報告事項)

平成25年3月末の標記報告書の内容について報告があった。

6月に会員へ送付した自主保安活動チェックシートを7月末までに提出いただくことについて各支部長にご協力をお願いした。

議題7 平成25年度千葉県指定保安講習会出席状況について (報告事項)

標記について資料に基づき、報告があった。

議題8 その他

6月27日に開催された保安委員会について五味委員長より平成25年度事業の進捗状況報告を行った。

本年度の事業の具体的内容について報告された。

- (1) 埋設管事故防止対策講習会
8月30日(金)に開催(別添案内)
- (2) 認定保安機関の更新手続きの完全履行

本年下期から認定保安機関の更新件数が多いことから、県産業保安課では集中受付を行うことになる。詳細は協会事務局へお問い合わせ下さい。

- (3) 周知パンフレット(一般消費者向け)の作成
 - (4) 県指定保安講習会資料の作成
 - (5) 製造事業者保安講習会の開催
- (3)～(5)の内容については、今後検討することとする。

業界最新情報は全L協事務局通信から！ アクセスは協会HPより！

お知らせ CHIBAちば コーナー

防災危機管理部産業保安課 保安対策室

県からの連絡事項は次の通りです。

1 平成24年に発生したLPガス 容器盗難・喪失事故について

千葉県内で平成24年に発生したLPガス容器盗難・喪失事故は28件で、平成23年の29件より1件減少しましたが、相変わらず高止まり状況です。

LPガス容器盗難・喪失事故の発生場所としては、民家(空き家)9件(32%)、民家6件(21%)、事務所5件(18%)、公民館3件(11%)、商店2件(7%)、その他3件(11%)でした。

また、下記のような特異なケースがありました。

① 民家(共同住宅)で、5.0 kg容器4本を盗難

② 事務所で、容器プロテクターに転倒防止チェーンを巻き付け、施錠にて固定していたにもかかわらず、プロテクターを外して、20 kg容器1本を盗難

LPガス容器盗難等防止のため、販売事業者、保安機関による顧客への注意喚起と巡回強化等をお願いします。

2 梅雨期及び台風期における 防災態勢の強化について

経済産業省は、液化石油ガス販売事業者及び保安機関(以下「事業者等」という。)に対して梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について要請するとともに、県に対して事業者等に対する指導を求めています。

ます。これを受けて県では、一般社団法人千葉県LPガス協会に平成25年6月17日付け産保第632号で周知をお願いしたところです。

事業者等におかれましては、LPガスに係る災害防止の観点から下記の保安の確保に関する対応をお願いします。

① 容器等の流出・転倒等防止措置

② 供給設備等の巡視・点検の徹底及び迅速な復旧措置

③ 風水害等に係る被害に関する情報の収集・伝達及び当該被害が予想される箇所の警戒体制の充実

④ 東日本大震災の被災地においては、避難者や仮設住宅の入居者の安全確保に係る他の事業者等との協力体制の構築

需要開発推進運動

3つのスローガンと方針について

千葉県では、まずは販売店の経営基盤を盤石にすることが必要と考え、下記スローガンに対する方針について決めました。

(1) 【進化するLPガス】

スローガン…LPガスで節電
LPガスで自家発電を推進しよう！

方針…エネファームをお客様に販売するには、価格の面において多くの会員がすぐに販売することが難しいことから、知識の習得を兼ねて、販売店が自ら取り付けることにより、エネファームへの理解を深めようとする。

初年度はエネファームマンガパンフを1会員1冊配布する。

自らが読み、サブユーザー(工務店、ハウスメーカー)に持ち込み、エネファームを販売してもらうよう働き掛ける。(会報と同封)

3年間にわたる運動なので、初年度は特にエコジョーズの販売に力を入れる。

(2) 【究極のライフライン LPガス】

スローガン…避難所へのLPガス備蓄を働き掛けよう！

方針…長期ビジョンなので現状の進め方でのフォローアップを図る。県内全首長への要望書提出のお願いをしておりますので、その報告を収集することと、その後の反響をとりまとめる。

また県内だけでなく全国において成功事例があれば、その事例についての見学や聞き取りも必要。

全国事例等は、一般社団法人全国LPガス協会事務局通信にて掲載されております。

なお、協会HPにバナー掲載されておりますので、ご覧下さい。

また消費者にLPガスに慣れ親しんでいただくクイズ形式のLP

ガス検定が7月から始まりました。当協会HPにバナー掲載しておりますので、是非ご覧下さい。

(3) 【人を育むLPガス】

スローガン…火の文化を子供たちに伝えよう！

方針…青年委員会に委託し、出来る市町村から取り組んでもらう。

平成25年度セミナー開催日程等

(1) 7月17日(水)(下記記事)

需要開発セミナー

(講師) 山田耕司氏(大分県協会長)

(2) 9月19日(木)(別添案内参照)

エコジョーズ設置・施工研修

(講師)

(一社) 日本ガス石油機器工業会 T&D リース(株)

(3) 10月11日(金)(別添案内参照)

LPガス・エネルギー産業の今後の展望

(講師) 伊藤敏憲氏(アナリスト)

7月17日 需要開発セミナー開催

さる7月17日(水)15時30分から木更津市のロイヤルヒルズ木更津ビューホテルにおいて標記セミナーが開催され、70名の方が受講されました。

講師の山田耕司氏(一般社団法人大分県LPガス協会長)より演題「LPガス事業者のあり方～お客様との絆を深めるサービス展開」にて講演を行いました。

内容については、これからのガス屋が生き残るための一つの条件として、ガス料金の説明ができなくてはならないとのことでありました。

今後の販売店の事業の取り組みに参考となり、好評につき終了いたしました。



空家の充てん容器は必ず撤去しましょう

第28回

関東高圧ガス保安大会開催される

(有)風見商店様 受賞



風見 敏雄氏

関東高圧ガス保安団体連合会主催、経済産業省関東東北産業保安監督部後援による『第28回関東高圧ガス保安大会』が去る7月26日(金)に「ホテルアジュール竹芝」(東京都港区)で開催されました。

午前中の総会に引き続き、午後1時30分から経済産業省関東東北産業保安監督部長表彰並びに関東高圧ガス保安団体連合会会長表彰授与式が挙行され、表彰式と特別講演「進化するLEDは省エネ、創エネ、蓄エネも！」東京理科大学の大川和宏教授より行われました。

表彰式では、関東高圧ガス保安団体連合会会長表彰受賞者の中の優良販売業者として有限会社風見商店様(風見敏雄代表取締役：野田支部)が受賞されました。

誠にありがとうございます。

～青年委員会便り～

『福島から表敬訪問』

青年委員会 委員長 日下 伸一

昨年7月に青年委員会の研修会で福島県を訪問し、福島県協会青年委員会へ廃棄ガスメーター回収運動の収益金を東日本大震災の復興支援金として寄贈し、合同防災研修会を行いました。その際お世話になった今泉青年委員長と二瓶副委員長をはじめ福島県協郡山支部の皆さま総勢10名が、去る6月11日、千葉県に表敬訪問いただき、両県の交流会を開催いたしました。

一年ぶりの再会を祝し、さらに懇親を深めとても素晴らしい時間を過ごすことができました。

他県の若い世代の方々と接する機会は貴重な機会でありますので、今後もこのような機会を設けていけるといいと思います。

相談所ラジオCMのお知らせ

本年度も8月から12月にかけて、当協会相談所のラジオCMを行うこととなりました。

毎週土曜日朝7時25分頃に文化放送(1134MHz)にて放送されますので、ぜひお聞きいただきたいと思います。

なお、相談所は月～金(祝日除く)9:00～12:00及び13:00～17:00に開設しております。

連絡先は043-246-1579です。

新型インフルエンザワクチン 特定接種体制における事業継続 計画の策定について

一般社団法人全国LPガス協会では、インフルエンザが流行し始めたときに、一般より先に予防接種する(特定接種)体制について、現在、経済産業省石油流通課と協議しております。社会インフラを担うLPガス業界へ

の配布総本数10万本のうち5,800本が充填所とLPガススタンドに配布可能となる予定です。

LPガス充てん所数：2,086箇所
各2本 合計本数 4,172本
オートガススタンド数：1,612箇所
各1本 合計本数 1,612本
合計 5,784本

しかしながら、接種の条件として接種体制の整備と各事業所に事業継続計画(BCP)の策定を要するこ

とが条件となっております。

つきましては、全L協で作成したひな型を参考として各販売事業者の独自の事業継続計画(BCP)の策定をお願いします。

なお、同ワクチンの配布方法、配布タイミング、接種方法などについては、現在、各省庁間で検討が進められております。

詳細は当協会へお問い合わせもしくは協会HPをご参照ください。

大募集！

本紙新年号(第185号)の第1面を飾る新年に相応しい写真を募集しています。

詳細については、協会事務局までお問い合わせ下さい。TEL 043-246-1725

【平成25年度高圧ガス製造保安責任者・ 販売主任者及び液化石油ガス設備士試験について】

標記試験につきましては、平成25年11月10日(日)に「千葉工業大学 津田沼校舎」にて行います。

なお、受験希望される方の受付は、平成25年8月26日(月)から9月6日(金)までです。

なおインターネット受付は、9月6日午後5時まで、書面(郵送)受付は、9月6日(金)までの消印があれば有効です。

詳細については、本会報とともに同封いたしました案内文書をご覧くださいと思います。



支部便り：船橋支部 自分たちのために一緒に 汗を流しましょう！

㈱リルフ・ナカジマ 中島元男氏

この度の炎の仲間の投稿が船橋支部の番であるとお聞きして、悩んだ末に初めての支部長就任の挨拶の内容をお伝えするのが一番良いのではないだろうかという結論になりました。

支部会員様に向けたメッセージではありますが、業界の皆様に対するメッセージでもあります。

支部長就任挨拶（下記掲載）

最近の新聞紙上の見出しでは「上場企業の2013年3月期が好調である」という記事が踊っており、日本経済は着実に景気回復に向かおうとしております。

はたして我々の業界はこの波に乗ることができるのでしょうか？

東日本大震災を契機にエネルギーの抜本的な見直しがおこなわれようとしています。

原発の脆弱性からオール電化、地震の頻繁な発生と、近い将来の大規模地震発生の不安から、都市ガスへの転換も足踏み状態にあり、我々LPガス業界にとっては、皮肉にもこの震災で延命措置が施された感があります。

しかし現実を見てみると家庭用エネルギーの選択肢は電化・都市ガス・LPガス・灯油の四択しかなくにもかかわらず、新築を建ててLPガスを選択しようとする人は、皆無に等しい現状です。なぜでしょうか？それは「LPガスに魅力がない」からなのです。

「今、足踏み状態のエネルギーの選択も景気が回復し、本格的にエネルギーの選択が始まった時、LPガスが魅力のないエネルギーのままであるならば、次世代エネルギーの選択から完全に脱落してしまうであろう。」そう考えると、我々がこうしてられるのも、あと5年位が限度であり、今まさに、業界の正念場を迎えているのである。

それでは、どうすれば「魅力のあるLPガス」にすることができるのか。その

答えは簡単であります。それは、あえて消費者とは言いません、使う側から見て他の家庭用エネルギーの選択肢（電化、都市ガス、灯油）より魅力的であればよいのです。

しかし残念ながら、我々の業界は、ここに払う努力を全くしないで50年間過ごしてきました。「使う側からみて魅力的なエネルギーを目指す努力を」。「何馬鹿なこと言ってるんだ！そんなのできる訳ないじゃないか。」と思われている方、勉強不足です。我々が、何の努力もしてこなかった末に、偶然にも、他の選択肢に勝る環境が整ってきたのであります。なんともラッキーな事ではありませんか。その具体的な内容については、残念ながらここで詳しくお話しする時間はございません。キーワードを申し上げるとすれば、軒下在庫・シェールガス・シェールオイル・コンボジット容器などでしょうか。

今までお話しさせていただいた事の要点をまとめると、1.今まさに次世代エネルギーの選択枝決定の正念場を迎えている。2.他のエネルギーに勝る環境が整ってきた。という事です。もっとわかりやすく言うと、ここ数年の間に他のエネルギーを超える魅力あるLPガスにならなければ、おそらく5年程度で衰退してしまうし、他のエネルギーに勝る環境を利用して、なおかつ、業界がそれに向かって努力するとすれば、20年、30年と業界は存続する事が可能である。という事です。それではその行動をいつやるのか、「今でしょう」。まさに今やるしか業界は生き残れないのです。少々、ご批判を受ける事を覚悟の上であえて言わせていただくと、我々が、こうして協会運営をしているのは、何のためでしょうか？業界が良くなり、如いては、個々のご販売店様が潤うためなのではないでしょうか。そのために会議や役員会、総会を開催すべきであり、皆様には、そのために貴重な時間を割いて出席していただいているはずですが、しかし現状はただ単に上部団体からの報告や連絡事項の伝達で終わってしまっています。私は、支部長になって、そのために時間を割くつもりは毛頭ございません。「魅力のあるLPガス」にするために、この船橋支部から発信してゆきたいと考えております。いわば、次の30年に向けた業界の取り組みのスタートにしたいと思っております。幸いにも、県協会です新たに設置された「需



要開発委員会」に在籍する予定であります。この中で、今までの路線での需要開発ではなく、他のエネルギーに勝つための抜本的な需要開発を提唱してゆきたいと考えております。それこそが、都市部に近い船橋支部会員の願いなのではないでしょうか。それには、もしかするとLPガスをあきらめかけているかもしれない我々世代の人達の協力が不可欠です。船橋支部の中には、我々と同世代の方々がたくさんいます。しかし、報告や、伝達事項に終始していた協会運営に魅力を見出す事ができず、協会のことは親父まかせ。という人が大半です。しかし、そう考えている人も、もう40、50歳台であり、普通の業界であれば、一番率先して活躍していかねばならない年代です。あと、10年、20年この業界で飯を食うつもりであれば、親父任せや他人任せであってはなりません。自分の食いぶちは自分の力で築き上げましょう。どうか皆さん、船橋支部で自分の将来を左右するこの大事な時期に一緒に汗を流そうではありませんか！また、業界の将来を担うには、若い人の育成が最も大切です。若い人が育たない業界の未来はありません。幸いにも県青年委員会には将来に向けて研鑽を積んでいる優秀な若者がたくさんいます。その活動範囲は本業のガスにとどまることなく、幅広い分野を模索しています。船橋支部内の若い方もぜひこの方たちと交流して、切磋琢磨していただきたいと考えております。そのための会費の補助等も視野に入れて検討できればと考えております。いろいろと生意気な事を申しましたが、船橋支部会員様と業界の発展に尽力してまいりますので、今後ともよろしくお願ひします。

先日支部役員会で鎌倉を訪問し、かねてより乗車したかった江ノ電に乗り、諸先輩方の貴重なお話を聞くことができ、とても有意義な二日間を過ごすことができました。そのときのスナップです。

千葉県の温泉

今年の2月に青森の酸ヶ湯温泉と秋田の鶴の湯温泉に行って来ました。酸ヶ湯温泉は過去最高の5メートル66センチ位の積雪があったと思います。寒い時期に寒い所と言うことで、行って来ました。料理もおいしく、よかったです。

全国にいくつの温泉があるか知りませんが、千葉県にも温泉と呼ばれる場所が30くらいあるようです。そのほとんどが沿岸にあるようで、北は銚子の犬吠崎から南は白浜。東京湾に沿って館山と木更津があるようです。

インターネットで調べればすぐ解りますが、いくつか調べた結果を書かさせていただきます。

まず、北の銚子犬吠崎温泉、東映映画の最初に出てくる岩に浪が砕ける場面は、閉館しましたがグランドホテル磯屋の前、地球が丸く見える犬吠崎ホテル、犬吠崎温泉のキャッチフレーズは、美しい日の出と野性のイルカに出会う感動だそうです。

会合で行った鶴原温泉、与謝野晶子ら文人に愛された理想郷に湧く秘湯だそうです。洞窟のお風呂がある旅館に泊まったことがあります。鴨川、小湊、館山、この辺はみなさんも泊まったことがあると思います。それぞれ、花にあふれたとか、日蓮上人誕生の

「三奇瑞」が今に生きつづける、また、南欧の雰囲気だよう、花と潮風の温泉と言うように、うまい表現をするな一と思います。

今年でしたか養老溪谷にある七里川温泉に行きました。日帰りのライダーが何人か露天風呂に入っており、夜、囲炉裏を囲んで皆で一杯やりましたが、風情があり楽しい時間でした。他にも羅列しますと、房総一の古湯の千倉温泉、紺碧の海と色とりどりの花の白浜温泉、ミネラル豊富な縄文海泉の薬師温泉、まだまだ、湯場の原、曾呂、亀山、長生と行ったことがない温泉がいくつもあり、折を見て行って見たいと思っています。